

太陽光発電を活用したエコな農業の実践

<概要>

- ・ 事業実施主体：エコフィールドとみつ（富津甘藷生産組合）
（福井県あわら市）
- ・ 発電出力：約20kW（太陽光パネル94枚をさつまいも貯蔵施設の周囲や屋根に設置）
- ・ 発電電力量：約19,000kWh/年
- ・ 総事業費：2,000万円
- ・ 運転開始時期：平成24年2月



【貯蔵施設設置の太陽光発電設備】

<特徴>

- ・ 「エコフィールドとみつ」は、福井県あわら市富津（とみつ）地区において、地元特産の「とみつ金時」（さつまいも）などを生産する若手農業者5名で設立した生産組合。
- ・ 発電した電気は、キュアリング貯蔵※などを行う際に使用し、余剰分は売電。年間エネルギー消費量の約13%を賄い、電力経費を年間36万円程度削減。
- ・ 太陽光を活用したエネルギーの地産地消と温室効果ガス削減に貢献。
- ・ 貯蔵施設は地元県産材を使用し、暖房器具には薪ストーブ、そして太陽光発電とエコ農業を実践。
- ・ 地域の再生可能エネルギーの活用をアピールポイントとして、ブランドイメージ向上を図ることが出来ないか検討中。

※さつまいもを35℃、湿度95%以上の室内に約90時間置き、その後、一気に12℃まで温度を下げて湿度を85%にして保存する貯蔵方法。さつまいもの表面が蓋をするようにコルク化し、最適な水分量を含ませたまま長期間美味しい状態を維持することが可能。



【貯蔵庫の内部】

（都道府県地図）

